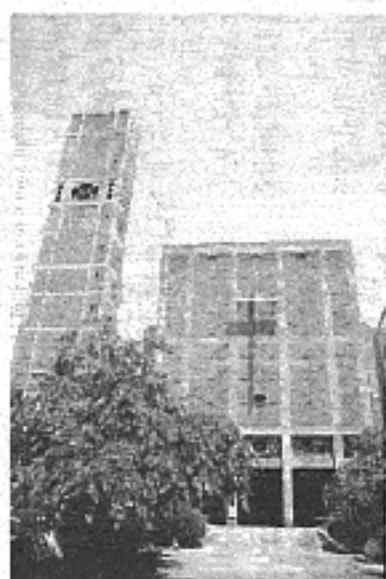


カトリック

広島教区報

世界平和記念聖堂 国の重要文化財に指定される



機町教会として知られる、広島教区の司教座聖堂（カテドラル）の世界平和記念聖堂が、平和公園の原爆資料館とともに国の重要文化財に指定されることになっていくが、七月五日付けで正式に公示された。この二つの建物は、戦後間もなく被爆地広島ので、世界平和を願って平和のシンボルとして建てられたもので、平和発信の拠点としてさらに期待されることとなった。

世界平和記念聖堂は、当時の木造の機町教会で被爆した故フーゴー・ラサール神父（イエズス会）の発意によって、世界平和と原爆犠牲者の慰霊のために祈る場として五二年前（一九五四年）に建立された。神父の熱く深い思いのもと、「宗教的印象と、莊

厳性、それに日本的性格」を併せ持つこの聖堂を設計したのは、故野村藤吾氏。原爆資料館を手がけた丹下健三氏と共に、日本の建築界で巨匠と称される人物である。

この聖堂建設にあたっては、国内外、教会内外の多くの方々、特に広島市

No. 65

カトリック
広島司教区発行責任者
編集者
澤野耕司神父広島市中区福町4-42
広島司教区館内
TEL (082) 221-6017

民の善意の寄付と協力があがり、聖堂は精神的意味で広島市に寄贈されている。したがって、国重文の維持管理の上でどのような問題が生じるか不安も残るところではあるが、多くの人にこの聖堂の存在を知ってもらい、世界平和への祈りと、

司教宣言を実現するために

○信徒を中心に平和の使徒推進本部が始動。
○小教区では、司教公式訪問を機会に、プロジェクトを使った司教宣言の解説をしましょう。

推進本部の構成

六月四日の教区宣教司牧評議会でも承認され、司教から任命を受けた。

〔本部長〕

祇山 登さん（呉教会）

〔副本部長〕

鈴木 實さん（岡山教会）

柳恵 一郎さん（宇部教会）

澤野 耕司神父（機町教会）

原爆犠牲者の慰霊のために大いに活用してもらおうようになることは何よりも喜ばしいことである。

国重文の指定を受けたことについて三末篤實広島司教は、「聖堂が国の重要文化財に指定されたことはすばらしいことです。しかし、建物はしよせん建物でしかありません。これをいかに利用し、活かしてゆくかは私たちの手にかかっています」と述べている。

局長・竹内 秀晃さん

（機町教会）

実行チームの責任者

七月十五日に第一回の平和の使徒推進本部会議が開かれ、実行チームの責任者と担当司祭を決定した。

〔平和推進チーム〕

責任者・祇山 登さん

担当司祭・斉藤眞仁神父

〔きょうどう推進チーム〕

責任者・鈴木 實さん

担当司祭・後藤正史神父

〔養成推進チーム〕

責任者・柳恵 一郎さん

担当司祭・佐々木良晴神父

それぞれのチームは、今後委員を充実させながら教区レベルの活動に取り組み。なお、「在住外国人生活支援窓口」については、現在すでに活動している「日本難民移住者移動者委員会広島」の意見をもとに、推進本務のメンバーとなる責任者を決めて組織作りを進めてゆくことになる。

〔本部長〕

佐々木良晴神父

〔山口島根地区長〕

斉藤 眞仁神父

〔広島地区長〕

後藤 正史神父

〔岡山鳥取地区長〕

担当・肥塚 神父

〔事務局〕

担当・肥塚 神父

パト口岐部と一八七殉教者の列福決定

広島教区内の五殉教者も含まれる

（本文は4面）

平和行事 聖公会からも参加予定

子どものための

プログラムも準備

今年は、たくさんの方が平和行事実行委員会に参加し、彼らのアイデアを盛り込みながら、新鮮な感じで行事が企画された。

《五日》

十八時二十分からの「原爆供養塔前での祈り」に続く「平和行進」と、世界平和記念聖堂での「平和祈願ミサ」には、聖公会の教会か

らも司教が参加し、説教を行うほか、司祭、信徒、そしてスカウト団の参加申し込みがあり、ミサ中の聖体拝領も一緒に行うなど、画期的な平和行事となる。十五時から子どもたちがミサの中で捧げるピース・キャンドルを作ったり、世界平和記念聖堂を探検するなどの、プログラムが用意されている。これは、

青年たちや教会学校のリーダー、保護者たちが一緒に企画し運営する。

〔世界平和記念聖堂案内〕は、十三時〜十六時まで。これは、ノートルダム清心の高校生二十名が受け持ち、これまで勉強会や練習を積み重ねてきた。また、英語による案内も準備している。

〔被爆者証言〕は、十三時からマリアホールで、森重昭さん、森さんは国民学校六年生のときに広島市己斐で被爆した。また、米軍捕虜被爆者の研究発表もしている。多目的ホールでは、大阪教区からの巡礼者のた

めに早瀬神父。一般参加もできる。

その他、十三時に宇品海岸通り電停前に集合しての「ピースウォーク」、十五時にカトリック会館前に集合しての「原爆・軍都追跡めぐり」があり、夜中は二十一時十五分から二十四時まで、青年企画による「祈りの集い」がある。

《六日》

広島市内の教会では日曜日のミサをやめて、九時三十分からの世界平和記念聖堂での「原爆犠牲者追悼ミサ」に参加する。このミサでは、いくつかの国の聖

歌を原語で歌ったり、奉納や共同祈願も国際的なミサになるように工夫されている。

これに先立って、八時十五分の原爆投下時刻にあわせての「原爆犠牲者追悼の祈り」が八時から九時十五分まで行われる。ここでは、沈黙を挿みながら、人間のおろかな破壊と、神の慈しみによる再生の歴史を現す劇が行われ、黙想へと参加者を誘う。

ミサ後には、神言会のシーゲル神父（南山大学助教授）による、憲法九条の改憲をめぐる問題についての講演。

十四時には、プロテスタントとカトリック合同の「キリスト者平和の祈り」、聖書や長谷川神父の話し、そして音楽を聴き祈る集いとなる。

《九日》

長崎平和の日（原爆記念日）八月八日発、二泊三日の「三木司教と行く長崎平和巡礼」が企画されている。九日には、長崎教区の平和行事に参加する。

（司教メッセージ） 平和のために遣わされている私たち

カトリック広島教区長 三木 篤實司教

八月、今年もまた六十一
年目の原爆記念日を迎える
ことになりました。

私たちにあって過去の出来事は、歳月の流れと共に記憶から遠のいてゆくのが普通です。しかし、原爆の悲劇はそれを体験した人々にとつては、忘れ去ることのできない大きな犠牲とし

て、今も残っています。

マスメディアを通して毎日報道される痛ましい多くの悲惨な出来事を見ると、私たちは心を痛め、神のあわれみと御助けを祈ります。このような現代社会の現実を見るたびに、私たちの脳裏に浮かぶのは、自己主張によるおろかな争い

や憎しみ、そして原爆の悲惨さです。

「戦争は人間の仕業です」、「戦争は人間の生命の破壊です」、「戦争は死で」と、平和公園で全世界に向かつて発表された故ヨハネ・パウロ二世教皇の平和スピーチは、今も私たちに強く訴えています。

すべての人が望むこと、それは平安と幸せでしょう。争いや悲惨な出来事から平和や幸せは生まれるこ

とはありません。

キリストは、「あなた方に平和があるように。父が私をお遣わしになったように、私もあなた方を遣わす。」（ヨハネ二十章二十一節）、と私たちを平和の使徒として遣わして下さいました。私たちは、キリストから与えられた使命を実行し、真の平和と、すべての人々の平和の実現のために最善を尽くしたいと思います。

伝え続けよう 私たちが

— 真実・正義・慈愛 —

(広島教区 平和行事プログラム)

8月5日(土)

- 13:00～17:00 ①ピースウォーク 広島市内電車宇品線海岸通電停前 13時00分集合
1894年に大本営が広島へ移され、軍都と変遷した広島の歴史を聞き、宇品港へ陸軍製鉄支廠の倉庫跡ほか…平和を考えながら約5キロを歩きましょう。
- 13:00～14:45 ②被爆者証言 マリアホール
想像を絶する被爆の惨状、被爆者の貴重な証言に耳を傾けましょう。
- 15:00～16:30 ③原爆・軍都遺跡めぐり 広島カトリック会館前集合
臨時帝国議会議跡・憲兵隊跡・大本営跡などの遺跡をめぐります。
- 13:00～16:00 ④世界平和記念聖堂案内 世界平和記念聖堂前集合
国の重要文化財に指定された聖堂建設・経緯を聞き、世界各地から平和の願いをこめて寄せられた「本祭壇」「平和の鐘」「聖堂扉」「ステンドグラス」ほか見学しましょう。高校生が案内します。英語案内も行います。
- 15:00～17:00 ⑤子どもたちによる平和メッセージ マリアホール
平和への祈りを表現したピースキャンドルをつくり、ミサでささげましょう。
子どものための世界平和記念聖堂探検もあります。(小・中学生向けのプログラム)
- 17:45～18:15 祈りのつどい 平和記念公園原爆供養塔前
原爆供養塔の前で犠牲者の冥福と、今も戦争・紛争により世界各地で苦しんでいる人々のために平和を祈りましょう。
- (18:00～19:00) 平和の祈り 世界平和記念聖堂(地下聖堂)
「平和アピール」を黙想し、世界の指導者に和解による平和と、世界中で苦しんでいる人々のために祈りましょう。(平和行進に参加されない方々のために)
- 18:20～19:10 平和行進 原爆供養塔前～世界平和記念聖堂
平和を願い歌いながら祈りをこめて行進しましょう。
- 19:30～20:45 平和祈願ミサ 世界平和記念聖堂
61年前、人類史上最初の大規模な原爆投下により一瞬にして十数万の尊い命が奪われ、今も世界中が核に脅える国際社会情勢に心を配り、「キリストの平和」が実現するようにこのミサを献げましょう。
- 21:15～24:00 祈りの集い
みんなで集まり、歌を通じて音楽とともに静かに祈りませんか。聖堂は24時まで開放していますので自由に祈ることができます。

8月6日(日) 広島平和記念日(広島原爆記念日)

- 6:15～ 諸宗教祈りのつどい 平和記念公園原爆供養塔前
仏教・神道・キリスト教などの宗教者が共に原爆犠牲者の冥福を祈るつどいです。
- 8:00～9:15 広島原爆犠牲者追悼の祈り 世界平和記念聖堂
原爆投下の時間(8時15分)にあわせて祈りをささげましょう。
- 9:30～10:30 原爆犠牲者追悼ミサ
61年前、一発の原子爆弾により亡くなられた方の慰霊と平和の願いを、追悼ミサに参加しましょう。
- 10:30～12:00 平和講演 シーゲル神父(神言会司祭 南山大学助教授) 世界平和記念聖堂
- 14:00～15:30 キリスト者平和の祈り
主イエス・キリストの十字架の死と復活の愛を信じるキリスト者(プロテスタントとカトリック)がともに集い心をひとつにして平和実現のために祈ります。

8月9日(水) ながさき平和の日(長崎原爆記念日)

- 11:00～ 長崎原爆犠牲者追悼ミサ 世界平和記念聖堂

まだまだ元気 司教叙階記念



六月十一日倉敷教会
で、三末篤實司教の司教叙
階二十一年周年、そして司祭・

楽しさ一番 求連の集い



長府教会での集い

六月十七日、第二十回山
口・島根地区のカトリック
ボランティアの集いが開か
れた。講師は、身体と心に
重いハンディや病を負って
いる人々の病院や施設での
音楽活動に献身しておられ

修道女の金・銀祝のお祝い
が行われ、司教はじめ各地
区の司祭、信徒約百七十人
が参加。

人工透析を始めて七年目
の司教は、この日七十歳の
古希を迎えたが、「古希は
『こきつかわれる』ことに
通じる」と、得意のジョー
クを飛ばすほど元気。

また、岡山地区長・後藤正
史神父は「神の民である信
徒の結婚や洗礼の金・銀祝
も行います」と宣言し、数名
の信徒がその恵に与った。

る、音楽リハビリセッション
指導者の長廣めいこ先生。
全員で手話を交えて歌い、
カスターネット・マラカス・
ハンドベル等で、唱歌やな
つかしのメロディーや民謡
を実修し、音楽療法を体験。

瀬戸内海に浮かぶ 毒ガスの島「大久野島」

広島教区「平和を願

る人々の集い」は、三月
二十五日と二十六日、大久
野島で研修を行った。ここ
では、第二次世界大戦のさ
なか、兵器用の毒ガスが研
究され、作られていた島で
ある。ここで作られた毒ガ
スは六千六百六十トンと言
われ、中国などで実際に兵
器として使われた。中国発
表では二万人から十万人が

この毒ガスで殺されたと言
う。その他、毒ガスは中国
での生体実験にも使用さ
れている。

島には実験用だったもの
が繁殖し、野生化したウサ
ギがいる。

列福式は来年五月以降 詳細は未定

広島教区殉教地・巡礼
地ネットワークは、教皇
庁の列福を認める決定を受
けて、教区内で行われる殉
教者への巡礼行事への参加
と、カトリック中央協議会

から出された「ペトロ・カ
スイ岐部神父ほか一八七人
の列福を求める祈り」を祈
ることを勧めている。今回
の殉教者の大部分は信徒で
あることに特徴がある。

海鳴りの風3

下田秀雄司教センターだより

●「受肉とはどういう意味なの?」。センターには
信者ではない人も多く集
う。そんなひとりからの質
問にヨハネの冒頭を思い出
していると、「憲法を受肉
させなければいけないね」と
続けられてびっくり。●
今センターでは「市民の憲
法連続セミナー」が開かれ
ている。一回目は「映画
日本国憲法」の上映。二回
目は「戦争に続く校門にし
ない!」と題して小学校の
先生からお話を聞いた。●
現在下関市内には「アイラ
ブ・KENPO・ネット
ワーク」(九条の会しもの
せき)などの諸団体が憲
法を護り、活かそうという
活動を展開している。●目
頭の会話は「憲法を活かす
市民の会・やまぐち」の会
報に寄せられた牧師さんの
エッセイ「憲法の言葉ーそ
の受肉のために」に因るも
のだった。●「言葉の現実
化のことを教会では言葉の
受肉という言い方をする。
言葉の受肉のためには言葉

自体を知らなければなら
ない。言葉を知ったとき言葉
と現実の乖離に気付く」(要
約)。●憲法を知り、我が
身を憲法の血肉として活か
し、行動する。何んだか「型
体拝領」につながるものが
ある。信者かどうかに関わ
らず「受肉」の意味を様々
に語り合えるユニークさが
センターにはある。●四
月に出された「宣教司教に
関する司教宣言」の中には
「憲法第九条を広島教区の
宝として各教会で学習を深
めていく」と書かれている。
要は信者ひとりひとりがこ
の不戦・平和の言葉にどう
「受肉」させるかだ。●映
画「日本国憲法」はたいへ
ん解りやすく作られた作品
だ。何より世界中の人々が
日本国憲法を「人類の宝物」
とまで賞賛しているのには
感動する。ぜひ各教会での
上映を奨める。

(細江教会・廣崎隆一)



映画
日本国憲法



司教 メッセージに 感謝!

JICARM広島担当
Sr.春日 幸子

八一年頃から長い道のりを経て、今年の御復活に司教メッセージを頂き、JICARM(日本カトリック難民移住移動者委員会)広島に名実共に定着する事になった。JICARM広島担当者は八六年より島川氏、荻神父、後藤神父、肥塚神父、代行春日、九九年より春日が担当している。○一年より野村司教の任

命により全国組織の運営委員を兼任。忘れもしないが○二年の広島教区大会・広島地区第二分科会「共生社会を目指す教会」A部門をこのJICARM広島が担当、テーマ「ちがいは元氣」。みごとな総司会の山口神父には大変お世話になった。また当時福山教会信徒会長富山氏にも、内容からパワーポイントまで随分働いて頂いた事、教会を挙げて資料作りの流れ作業！懐かしく思う。改めてこの場を借り感謝したい。

○四年八月広島教区司祭大会「滞日外国人との共生融合」をJICARM M広島が担当。○五年十一月二十三日広島教区代表者会議第二A・B分科会「滞日外国人と一緒に平和を共有しよう」、○六年二月二十五日大阪教会管区地域別セミナー「どうしよう！子どもとの関わり」を皆様

の御協力により無事に終え、益々増えていく滞日外回籍の方たちと共に生きる広島教区の明るい未来を覗かせている。日本の老齢化と少子化は避けられないが、我々は神の国の市民、命に国境は無いことを、神からの呼びかけとして、真摯に受け止める時が遅れ馳せながら「今だ」と感じる。共生福音社会を目指して Let's go!



5月28日、広島県廿日市市の児童養護施設「光の園」の後援会によるバザー。教会の信徒を初め、地域のたくさんの人が協力して盛り上げ、今年も盛況のうちに終わりました。心から感謝いたします。

広島司教区行事および司教日程表

| | | |
|-----|---------------|-------------------------------|
| 8月 | 5日(日)~6日(月) | 平和行事 |
| | 10日(金)~12日(日) | 教区総会(於:米子) |
| | 15日(水) | 聖母の被昇天の祝日ミサ(カテドラル) 10:00 |
| | 27日(日) | 岩田教会 聖信式 9:00 |
| 9月 | 5日(日) | 司教区協議会 14:00 |
| | 10日(日) | 水島教会 公式訪問・聖信式 9:30 |
| | 10日(日) | 教区宣教師協議会 |
| | 11日(月) | 第20回世界連帯福山司教区大会(於:岡山教会) 10:00 |
| 10月 | 24日(日) | 津山教会 公式訪問 9:00 |
| | 3日(日) | 司教区協議会 14:00 |
| | 20日(金) | 百名合同祈りの集い(広島編) |
| | 22日(日) | 森田教会 公式訪問・聖信式 9:00 |
| | 23日(月)~28日(日) | 福山司教区協議会 |
| | 29日(日) | 観音町教会 公式訪問・聖信式 9:00 |

カトリックの雑誌 カトリック中央協議会 『会誌』

カトリック中央協議会秘書室広報から毎月発行しています『会報』(A四判 平均二〇頁)は、創刊が一九七〇年五月一日です。今年で三十六年目を迎えました。

当時のカトリック中央協議会事務局長、田村忠義神父(札幌教区)の時代に創刊しました。日本カトリック司教協議会、およびその傘下にある各司教委員会の動静は、日本全国のカトリック関係者、教会、修道会、学校、各施設等にとって大きな関心事となっており、各方面からその発行が強く要望されてきました。発刊の目的は、司教総会の内容と経緯、各委員会の活動状況や今後の予定などをより詳細に、しかも確実に伝達することです。

体との連携による取り組みも増加し、その内容も多岐にわたるようになってきました。

具体的には、年に二回(二月と六月)の司教総会の議事報告、毎月開かれる常任司教委員会の報告、典礼委員会、学校教育委員会、難民移住移動者委員会、カリタスジャパン、正義と平和協議会、部落問題委員会など各委員会の活動状況、その他、外国人登録法や部落差別問題についてエキシユメニカル(教会一致)的な立場で活動している諸団体の報告などを随時、掲載しております。日本のさまざまな分野で、いろいろな委員会がカトリックの立場から地道に社会の福音化のために活動を続けていることを、一人でも多くの信者の皆様に知ってほしいと思います。

『会報』は月刊(年十一回)で、年間購読料は三千円です。問い合わせは、カトリック中央協議会秘書室広報(電話〇三―五六三―四四三―、ファックス〇三―五六三―二―四四五七)までお気軽にお申しください。



ふと、自分の人生を振り返り、どうしてこの道歩んだか、いろいろな困難を乗り越えてきたかを考えてみると、力になつたいろいろな人を思い出します。そ



『知られざる恩人』

イエズス会士
広島カトリック教会

ドメニコ・ヴィタリ神父

して、きつと助けになつた隠れた恩人がいるのではないかと思います。

生誕五百年を祝うザビエルの場合も同じことだったのでないでしょうか？聖イグナチオの指導と言葉を受け、自分の故郷に帰らず人を助けるために新しい道に入りました。

ザビエルが生まれる前、お姉さんのマグダラのマリ



カトリック会館多目的ホールで

あつちこつちミサ
若者たちが
集まりました！

五月二十一日、「あつちこつちミサ」が開催されました。全国各地「あつちこつち」で同じ日、同じ時刻、同じ典礼を心を合わせて捧げるといふ目的で始まったこのミサも今回で三回目を迎えました。



山口教会で



岡山南教会で

担当が代わりました

五月からシスター・コンソラに代わり、広島教区青少年情報センターは頼町教会の門野葉が担当することになりました。

ラサール会館一階を
改築しました

頼町教会のラサール会館第一階の改築工事が行われました。お手洗いが新しくなり、新たにシャワー室と青年の部屋ができました。改築費の募金を行っております。ご協力をお願いいたします。目標は百万円です。

Nature World
in 笠岡 Vol.8

「次世代へつなごう！神

アは、ガンディアの聖クララの修道院に入り、ザビエルのことを心にかけて、よく祈っておられました。戦争などで経済的に難しくなつた時、兄弟たちがザビエルに、パリでの勉強をやめさせようとしたが、お姉さんは、「辞めさせてはいけません。ザビエルは神の偉大な使徒と、教会の柱になる」と手紙を出しました。その願いが聞き入れられてザビエルが勉強を続けることができ、お姉さんの心配と愛情、祈りと犠牲のためにも神様の呼びかけに答えることができ

ました。お姉さんは、ザビエルに会うこともなく、一五三三年一月二十日に亡くなられました。イグナチオの言葉と指導だけではなく、隠れた修道女の祈りと犠牲も、ザビエルの回心の大きな力になったことでしょう。ザビエルだけでなく、私たちに同じことが言えます。私たちが知らない多くの人が、私たちのことを心配し、神様に祈りと犠牲をささげていると確信して、神様が示される道を歩むことができます。

様くれた物ゝ将来のリーダー養成のために」
日程：八月二十六日、二十七日

場所：笠岡教会
対象：高校生以上
費用：青年三千五百円
高校生二千円

申込み等、詳しくは各教会配布のチラシ参照のこと。



半年前に、「マリア十五玄義園」(十七世紀初頭制作、京大博物館蔵)が修復されたと新聞で読んだ。本年生誕五百年のザビエルと没後四五〇年のイグナチオの二人のイエズス会士が描かれていた。芸術作品の修復には最新の科学技術力と細心の注意力が必要とされる。

世界平和記念聖堂が「意匠的に優秀なもの」として国の重要文化財に指定される。今後の私たちの保存と修復(修繕)の責任は大きい。